

原発避難生活とパパ・ママ支援の現状と課題

— 東日本大震災／原発事故から5年め —

東日本大震災の発生から4年4か月を過ぎました。福島に住む方々、あるいは地元を離れ家族が分かれて暮らす方々、それぞれに様々な変化が起こっています。今、皆さんはどのように生活し、どのような課題があるのでしょうか。福島でママと避難中にパパカフェを企画・参加されたパパ、福島・神戸・兵庫それぞれの地域に暮らすママ、パパを支援している皆さん、男性学の第一人者を交え、現在の課題と今後を皆で考えます。

— プログラム —

【講演】 武田 秀司 (福島県の中学校社会科教師)
福島でのパパカフェ企画・運営と育児休暇取得のお話

【講演】 富田 愛 (NPO法人ビーンズふくしま
みんなの家@ふくしま 事業長)
福島県内・県外避難ママ支援の現状と課題のお話
「みんなの家」は災害5年目にできた多世代交流の家

【パネルディスカッション】

コーディネーター: 山崎 栄一 (関西大学教授)

パネリスト: 武田 秀司
富田 愛
小林 千登勢 (べこっこMaMa事務局、神戸避難ママ支援)
伊藤 公雄 (京都大学教授)

【日時】

2015年8月1日(土) 13:00~16:00

【会場】

神戸国際会館 7階 701号室

(神戸市中央区御幸通8丁目1-6、各線三宮駅より3分程)



◎申込み／問合せ◎

山地久美子 (研究代表者:大阪府立大学客員研究員)

Eメール: gdr@hs.osakafu-u.ac.jp、電話: 080-1483-6641

主催

日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(B) 海外学術調査
復興・防災まちづくりとジェンダー